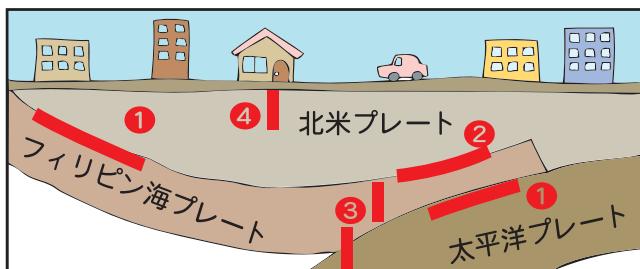


震度とは?

地震の震度とは、地震の強さの程度を示すものです。

震度5強以上の地震になると、落下物などによる可事故の能性が高まります。



直下のプレート構造と発生する地震タイプ

- ① プレート境界部の海溝で発生する巨大地震
- ② その他プレート境界で発生する地震
- ③ プレート内で発生する地震
- ④ 内陸部の活断層を震源とする地震

震度1

屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。

震度2

屋内にいる人の多くが揺れを感じる。

屋内の状況 電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。
屋外の状況 眠っている人の一部が目を覚ます。

震度3

屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。

屋内の状況 棚にある食器類が音を立てることがある。
屋外の状況 電線が少し揺れる。

震度4

かなりの恐怖感がある。一部の人は、身の安全を図ろうとする。

屋内の状況 つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。
座りの悪い置物が、倒れることがある。
屋外の状況 電線が大きく揺れ、歩いている人も揺れを感じる。
自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。

震度5
弱

多くの人が、身の安全を図ろうとする。
一部の人は、行動に支障を感じる。

屋内の状況 座りの悪い置物が倒れ、家具が移動することがある。
窓ガラスが割れて落ちることがある。
屋外の状況 電柱が揺れるのがわかる。
補強されていないブロック塀が崩れることがある。
木造建築物 耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。

震度5
強

非常な恐怖を感じる。
多くの人が、行動に支障を感じる。

屋内の状況 棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。
タンスなど重い家具が倒れることがある。
屋外の状況 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。
多くの墓石が倒れる。
木造建築物 耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。

震度6
弱

立っていることが困難になる。

屋内の状況 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。
開かなくなるドアが多い。
屋外の状況 かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
木造建築物 耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。
耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

震度6
強

立っていることができず、はわないと動くことができない。

屋内の状況 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。
戸が外れて飛ぶことがある。
屋外の状況 多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
木造建築物 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。
耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

震度7

揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。

屋内の状況 ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。
屋外の状況 ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下。
木造建築物 補強されているブロック塀も破損するものがある。
耐震性の高い住宅でも、傾いたり、破壊するものがある。